財政援助団体等監査結果報告書

1 監査の対象 指定管理者 社会福祉法人 吉竹福祉会
管理施設 小松市立のしろ児童館
所管課 こども家庭部 子育て環境課

2 選定理由

小松市立のしろ児童館は、前回の監査実施から一定の期間を経ていることから監査対象とした。なお、前回は平成 23 年度に実施している。

3 監査の種別 公の施設の指定管理者監査

4 監査実施日 令和 5 年 12 月 26 日

5 監査実施場所 小松市立のしろ児童館

6 監査の範囲

令和 4 年度の小松市立のしろ児童館管理運営費にかかる出納、その他の事務事業の執行状況

7 監査の実施体制 監査委員 西村 一伸

監査委員 表 靖二

8 監査の実施手続

監査にあたっては、あらかじめ必要と認めた事項を要記した監査資料及び関係帳票の提示を求め、学識経験者及び監査委員事務局職員が管理委託に関する内容等の閲覧、帳簿突合、質問及び現地確認等の予備監査を行った。

監査当日は小松市立のしろ児童館において、社会福祉法人 吉竹福祉会関係職員並びに所管課であるこども家庭部長ほか子育て環境課関係職員同席の下、監査資料に基づき説明を受けた後、事務の執行状況等を聴取するとともに、質疑応答を交わした。

なお、この財政援助団体等監査において、地方自治法第 199 条第 8 項の規定により学識経験者として、北陸税理士会小松支部所属の税理士を選任し、予備調査を依頼した。その調査結果及び意見を聴き、これを監査の参考とした。

9 監査の着眼点

監査の主な着眼点は次の通りである。

- (1) 施設及び設備の維持管理は、仕様書等どおり適切かつ効率的に行なわれているか。
- (2) 利用促進ならびに利用者サービスの向上のための取り組みはなされているか。
- (3) 公の施設の管理にかかる収支会計経理は適正になされているか。また、他の事業との会計区分は明確になっているか。

(4) 指定管理者に対する所管課の指導監督は適切に行われているか。

10 監査の結果

公の施設の管理に係る出納その他の事務の執行は、次のとおり改善を要する事項があったので、適切な措置を講じられたい。事務処理上にわたる注意事項は、監査の過程において当事者に指導したので本書には省略した。

(1) 指摘事項

<社会福祉法人 吉竹福社会>

指定管理者としての事業運営のうち、施設の管理は、概ね適正に執行されていると認められたが、会計処理等については前回指摘に続き、今回の監査においても支払処理で複数の不備が確認されるなど、改善されたとは言い難い状況が見受けられた。

指定管理者は、公の施設の管理者として指定を受け、公金である指定管理料により管理運営されていることを踏まえ、今後、所管課の指導に従い適正に業務執行されるよう求めるものである。

<子育て環境課>

市は施設の設置者として、指定管理者が業務を適正に履行しているか、会計や運営の状況を把握し、適切に管理運営させる責任を有している。そのため、収支の状況や業務の遂行状況を十分に検証し、必要な調査や指導を行う必要がある。

しかし、今回の監査では、前回の指摘事項が活かされておらず、収支の状況について市の実態把握が不十分であり、指定管理者に対する指導・監督責任を十分に果たしているとは言い難いものであった。

指定管理者に対し適切な処理を行うよう指導し、改善状況を確認・点検するとともに、所管する他の指定管理施設についても会計処理等が適切であったか確認されたい。

11 監査の結果に添える意見

<子育て環境課>

本指定管理施設は、令和4年4月1日に旧児童館の隣接地に移転し、新たに開館したものである。放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）を併設しているが、本市の子育て支援施設としての新たな役割が期待される所であり、利用者サービスの向上へのさらなる取り組みを求めるものである。